

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
ガバナー 佐藤正道
ガバナー補佐 網代智明
会長 石川邦俊
幹事 紺野容樹

情熱 行動
感動 共有
地区重点目標
1. DEI を取り入れた会員増強拡大
2. よりインパクトのある奉仕事業の実践
3. 活動の情報発信
4. ネットワークの構築
5. ポリイノベーション

2022-2023年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
RI会長 ジェニファー・E・ジョーンズ 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433
ウインガー・ローズランドRC (カナダ・オンタリオ州)

通算

10月は経済と地域社会の月間【米山月間】

第10回 [3082] 例会報告 令和4年(2022)10月6日(木)

出席委員会報告

会員総数	39名
出席会員	26名
欠席会員	13名
出席率	66.67%

職場訪問

◆開会点鐘 石川邦俊 会長

◆国歌斉唱 ◆ロータリーソング [奉仕の理想] 川又康彦 ソングリーダー

◆四つのテストの唱和 西脇徳幸 職業奉仕委員

◆お客様紹介 2021-22年度飯坂RC奨学生 李岳さん

◆会長の時間



今日は移動例会ですが、我が家の宝物であります ロータリーソング 四つのテスト
「三面大黒天」という仏像を皆さんに見ていただきます。うちの息子のご説明をするようになっておりますので、よろしくお願いいたします。今日の理事会では、11月6日の職場訪問と地区大会小旅行についての説明がありました。県民割などがありますので、予算上、まだ皆さんに正式発表することはできませんが一応進めております。国際交流フェスティバルについても、開催するという決定で段取りを進めておりますので、その時はよろしくお願いいたします。また、明日は北高の出前教室について、会長、幹事、委員長、副委員長で北高に行って、校長先生と打ち合わせをする予定となっております。

皆さんもご存じのように、今、栃木県で「いちご一会とちぎ国体」が開かれておりますが、聖光学院が大阪桐蔭と決勝戦をしまして、準優勝という快挙を成し遂げました。福島では59年ぶり、磐城高校以来のめでたい結果となりました。スポーツをやる子供たちにとっては、本当に勝負というものは、何をやっても大切なのですが、こういう、人ができない結果を出して、たいしたものだなと思えました。我々県民にも、希望を与えてくれたと思います。これからも高校生の活躍を期待していききたいと思いますので、皆さんも応援よろしくお願いいたします。

<飯坂RC奨学生李岳さん 近況報告> 先月は学会の発表などがあり、一時期、例会を休みましたが、先月末に長野県の信州大学での全国大会で発表をして、無事に報告を終えました。また一昨日ですが、東京で会社の内定式に出席しました。内定式が終わった後に、茨木県の鹿島で三菱ケミカルのコンビナートを見てきました。160万平方メートルのコンビナートを見て驚きました。これからそういうところで働くのだとびっくりしました。これからも頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

奨学金の贈呈

◆幹事報告 紺野容樹 幹事

A. 月信 「ロータリーの友」10月号 「ガバナー月信」10月号 No.4

B. 来信

- ① 国際ロータリー日本事務局より 「10月のロータリーレポートの案内」 1ドル145円 (現行139円)
- ② 2021-22年度ガバナー 志賀利彦 氏より 「地区資金決算書」
- ③ ガバナー 佐藤正道 氏より 「地区アクション表彰 (奉仕活動賞) への募集コンテンツ提供のお願い」
- ④ ロータリー米山記念奨学会委員会より 「10月米山月間資料」

◆スマイリングBOX 渡辺賢司 小委員 【合計23s】

石川 邦俊 会員 5s 今日の職場訪問ありがとうございます。
千葉 政行 会員 5s 今日NHK「はまなかあいづ」の番組で我が社の障がい者の子供達ができますのでごらん下さい。6:10~です。
西脇 徳幸 会員 5s 妻にお花ありがとうございます。
斎藤 孝裕 会員 3s ・欠席おわび (前回) ・石川会長、本日はお世話になります。
佐藤 真也 会員 2s 石川会長、職場訪問お世話になります。
鈴木 重忠 会員 2s 石川会長、職場訪問お世話になります。
紺野 容樹 会員 1s 石川会長、職場訪問お世話になります。

◆閉会点鐘 会長 ※例会終了後昼食

(紺野容樹幹事よりお知らせとお願い)

10月22日9時から福島信用金庫本店さんの駐車場で献血キャンペーンが行われます。新米2kgのプレゼントもございますので、皆様のご協力をお願いいたします。

職場訪問

天台宗春日山教法院「木造三面大黒天坐像」



【石川邦俊会長より挨拶】

今日は移動例会として、私の家の守護神「三面大黒天坐像」を参拝していただく事、大変うれしく思います。私が話すのもおかしいですが、大変珍しく、毎年小学3～4年生が勉強で訪問しております。ぜひ、皆さんにもご紹介したいと思っておりました。坐像は伊達家の守り神で、魔除けの神とも伝えられております。坐像を守って、私で六代目となりますので、石川家の宝として、後世に伝えていきたいと思っております。今日は参拝、そして、見学ありがとうございました。



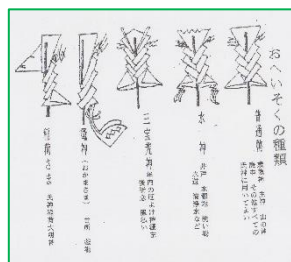
【天台宗春日山教法院ご住職 石川英俊 様】

皆さん、初めまして。私は戸籍上、石川英俊なのですが、僧侶の資格を取った時から石川英俊エイションと申します。今日は教法院の住職として、少しお話をさせていただきます。最初に、お寺ということで、皆様には合掌をお願いいたします。合掌 礼拝

まず、ここは天台宗春日山の教法院と申します。この教法院は、今から832年前に建てられました。大鳥城主である佐藤基治さんの三女が佐藤家を供養するために、尼さんになって、この春日山教法院を建てました。この小さなお堂は122年前の1900年の建物です。仏教を辿れば、明治元年までは神仏混合でした。その中で、うちは信者寺ということで、今でも田舎の方に行けば「法印様」と呼ばれておまして、要は御祈禱寺です。方角を見たり、地鎮祭をしたり、車のご祈禱をいたします。明治元年の廃仏毀釈、神仏を分ける運動で、政府から命令がออกมาして、その中で仏像を壊す運動がありました。こちらにあります仏像には顔がありません。顔のない仏像など、こういう時代がありました。今もうちは、神も仏もやっております。資料にもありますが、これは「おへいそく」と言います。毎年お正月に、この六角や平田町内会の信者さんの神棚に飾る物で、私が今でも作って、お正月に配っております。ご祈禱や解体工事の安全祈願、お正月の「おへいそく」や日にちを見るなどの宗教活動しております。今日のメインの大黒様ですが、元々は宮城県仙台にありました。明治元年の廃仏毀釈で、この仏像は壊される運命にあったのです。伊達家の由緒あるお寺さんからお話があって、二代目の石川民部が、伊達家の守り本尊だったこの仏像を、車の無い時代に信者さんたちと大八車で運び、



80kmあるところから、この地にひっそりと置いて、122年間、ずっとお座りになっております。大黒様というと、七福神の一人でお金が貯まる大黒様は、我々が知っている大黒様ですが、これは全く違う大黒様です。言うならば、七福神の大黒様は日本バージョンで、こちらはインドの大黒様です。この仏像の特徴は、後ろに象の皮を持ってあります。額には鬪髻、目が三つ、顔も三つで、三面とも違う表情をしており、胸元にはネズミが2匹おります。上半身裸で下半身は袴を履いており、手が6本で、6本ともに大蛇がおります。こちらには合掌している人間の髪をつかんでいるお姿、そちらは水牛の角を持ってあります。蓮の花の蓮華座に乗って、今でも修行していますよということなのです。この大きい黒い大黒様ですが、その由来は様々な説があります。戦闘の神様なので、このように昔の袴を履いている時代に、戦に行く時に、ここに立ち寄って、ご祈禱して出陣をしていたと言われております。この仏像は、福島市の有形文化財に指定されておりますが、全国的にも例が無いと言われております。しかし、一体だけ京都の平等寺の寺院さんにあるということで、私も京都に行った時に、お願いして見せていただきましたが、京都の文化財になっておりました。この仏像のように、左側に人間が合掌しているお姿もなく、動物の角を持っていることもありませんでした。あれほどの数の寺院があって、仏像もある中で、京都の文化財になっておりましたので、この仏像は、ここにあるのがもったいないくらいなのです。それが福島市飯坂、そして平野にあるということも、もっともっとアピールできたらなと思っております。私が七代目になって、そして、ここに住職になっている宿命なのかなと思っており、パンフレットなども作りました。福島市の宝、飯坂の宝だということも、私を始め、皆さんも何かの縁ですので、これを発信できたらなと思っております。よろしくお願いたします。この仏像は不動明王に似ているので、昔は「お不動様」と呼ばれており、うしろの火炎は後付けなのです。「三面不動尊」として、信仰されていた時代があったのです。60年前の平野小学校の大火では、ちょうどこちら辺で火が止まったそうです。火の神様のお不動様があったから、ここで止まったと言われております。ここに122年間座って、地域の皆さんを守っております。奉納していただいたのは昔の信者さんなのですが、剣の後ろを見ればわかりますが「三面不動尊」と書いており、間違えて信仰していた時期がありました。その間違いでも正しいのです。一つ言えるのは、本当に全国的に類例がない大黒様なのです。このような憤怒相の大黒様は、まず、どこにもありません。辿れば、どうしてここにあるのかと思うくらいなのですが、縁があってここにございます。それでは、何か質問事項がありましたらお願いいたします。



<質疑応答>

- Q「ここに来たのは122年前ですが、作られたのはいつで、誰が作ったのでしょうか？」
- A「仏師が誰か、いつ作られたのか分かっていれば国宝になります。以前、県の文化センターに貸し出しする時に調べたのですが、仏像の中には何も無かったです」
- Q「補修みたいなことはされておりますか？ 持って来た時のままですか？」
- A「持って来た時のままです。市の宝なので、勝手に補修することができないのです。直す方法もあるのですが、とはいえ、私共管理者と市が半分づつで行うのが法律です。福島市の文化財ですので、管理費を年間5千円いただいておりますが、消火器などの備品や電気代は全部うち持ちです。家の宝物だと思わないと、なかなかできないと思います。」